



## ○親子自然体験教室2「化石レプリカをつくろう」を開催しました！



7月29日（土）、親子自然体験教室2には、子どもと大人の計27名の方にご参加いただきました。子どもたちは化石の話聞いた後、化石の型に石膏を流し込み、絵具で好きな色に塗って、出来上がった化石レプリカを大切に持ち帰りました。化石レプリカづくりを通して、親子のふれあいや古生物の理解を深められたのではないのでしょうか。ご参加ありがとうございました。



## ○四国遍路についての勉強会を行いました！

7月28日（金）、県教育委員会事務局生涯学習・文化財課の片桐副課長を講師にお招きして、「四国遍路」についての勉強会を行いました。同氏から、四国遍路の歴史や成立等の概要、五色台の遍路道に多く残っている丁石（ちょうせき）について貴重な話をお聞きしたほか、野外体験学習で遍路道を歩きながら子どもたちに何を伝えたいのか等、多くのご示唆をいただきました。今後の中学校集団宿泊学習等の指導に活かしていきたいと考えています。

### シリーズ 自然科学展示室③



### ＜世界最古のナマズ科化石＞

この化石は、1985（昭和60）年10月に雨滝自然科学館の森繁館長が香川県大川郡大川町（現在のさぬき市大川町）柴谷の新生代第三紀中期中新世讃岐層群（約1500万年前）の凝灰岩中から採取したものである。1995（平成7）年8月に鑑定の結果、ナマズ目ナマズ科と同定され、今まで学会で発表されていないものであることが分かった。しかも、ナマズ科魚類としては、これまで一番古いとされていたものよりも約1000万年古いものであり、世界で最も古い確かな記録として、日本魚類学会に認定されたものである。当センターでは実物を保管しているが、展示しているものはレプリカである。